



校長通信

令和3年度 1号 令和3年4月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《新年度当初のごあいさつ！》

春陽麗和の好季節となりました。保護者の皆様に於かれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、私こと、戸川定昭、河北中学校の校長を拝命し、2年目となりました。今年度も、どうかよろしくお祈りいたします。



昨年度、校長通信を26号まで出しました。今年度、何号まで出せるか、わかりませんが、学校の取組、生徒の様子など、時には私のプライベートな話題も交えながら、刊行していきたいと思っております。かさねて、おつきあいの程、お祈りいたします。

なお、校長通信は昨年度版も含め、バックナンバーを河北中学校のHPに掲載しておりますので、必要に応じてご参照いただければと思います。

《入学式を実施しました》

4月8日（木）、入学式を実施し、111名の新入生を新たに迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を配慮し、今回も、来賓のご臨席を賜ることなく、また、吹奏楽部の華やかな演奏も割愛するなど、規模を縮小して行いました。



新入生は、少し大きめの制服に身を包み、少し緊張した面持ちでしたが、みんな姿勢正しく、式に参加していました。新入生代表の挨拶も、大きな声で、はきはきと話してくれて、とても立派でした。頼もしい限りです。

初心を忘れず、色々な事にチャレンジし、伸びて行ってほしいと思っております。

《新任式・対面式・始業式を実施しました》

4月9日（金）コロナ拡散防止のため、さわやかな晴天のもと、グラウンドにて、新任式・対面式・始業式を行いました。新任式では、今年度着任した教職員に、対面式では、新1年生に対して、それぞれ生徒会代表の生徒が、歓迎の挨拶をしてくださいました。多くの人前で、話をしたり、挨拶をしたりすることは、緊張したり、プレッシャーを感じたりして、中学生にとっては、勇気のいることかもしれません。しかしこうした経験は、とても大切な事だと私は思っています。上手に話す必要はありませんが、多少間違っても、聞き取りやすい、大きな声で、話すことが重要です。そう言った意味で、入学式で在校生代表の挨拶をした生徒を含め、3人の生徒会代表の挨拶も、聞き取りやすく、良かったと思います。対面式での新入生代表の挨拶も、謙虚な姿勢で、さわやかな挨拶の言葉でした。

始業式での、校長の式辞では、いつも話している、「残心」の精神で、最後まで油断せず、気を抜かず、様々な事にチャレンジするよう激励しました。

（注：残心の意味は、令和2年度校長通信 No.8をご参照ください。）

